

取り扱い：本資料の配付をもって解禁

記者発表資料

1. 行事名等 歩道の車両乗入部段差5cmの視覚障害者認識度試験の開催について
2. 日 時 平成17年11月27日（日） 10時～12時、13時～15時
3. 場 所 高知市薊野北町県道44号高知北環状線薊野高架下特設会場
4. 主 催 国土交通省土佐国道事務所、高知県

平成17年11月25日

国土交通省 土佐国道事務所、高知県

問い合わせ先

国土交通省 土佐国道事務所

副所長(管理) しもだ かずみ
下田 和美

管理第二課長 いしかわ やすじ
石川 安二

交通対策係長 いしした ますみ
石下 増美

TEL 088-884-0359 (代表)

歩道の車両乗入部段差5cmの視覚障害者認識度試験の開催について

1. 目的

歩道における車両乗入部は主に自動車・自動二輪車・自転車等歩行者以外が利用する施設であり、歩道縁端の縁石ブロックの構造は現在、自転車等が安全かつ円滑に走行できる、縁石高さ0cmから5cmにすりつける、ゼロすりつけタイプによる形状が主流となっています。

今回、自転車等が安全かつ円滑な走行が可能であると共に、万が一、視覚障害者が歩道を逸脱しようとした場合にも横断歩道部と車両乗入部を識別でき、円滑に危険回避ができるような5cm段差の縁石構造を国土交通省四国地方整備局として検討することとなり、これを受け、4県で試験を行っています。

2. 実施日（高知県以外は既に終了しています）

平成17年11月27日（日）雨天決行

午前の部10時～12時、午後の部13時～15時（予定）

※被験者の方々のご都合に合わせてご来場次第実施しますので正確な時間は定めていません

3. 参加者

高知県内の視覚障害者団体に案内を行い、10名程度の参加が予定されています。

4. 実験場所

高知市薊野北町 県道44号高知北環状線薊野高架下 特設会場（別図）

5. 当日の連絡先

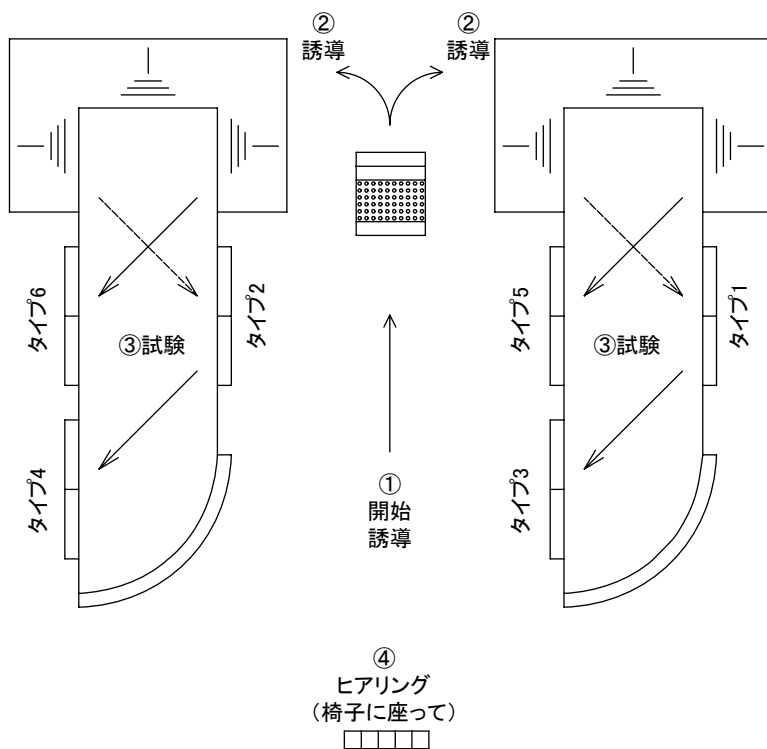
会場の携帯電話090-4787-0041

6. 実験方法

下図のような段差構造の模型を実際に視覚障害者に歩いていただき、横断歩道部の2cm段差構造と区別が付くかどうか等をヒアリングします。

段差5cm 縁石模型一覧表

タイプ	形状図	特徴	タイプ	形状図	特徴
1		すりつけ長50 先端段差50 R50面取り	4		すりつけ長100 先端段差20 10×20面取り
2		すりつけ長100 先端段差10	5		すりつけ長140 先端段差20 R30面取り
3		すりつけ長100 先端段差20 20×20面取り	6		すりつけ長200 ゼロすりつけ



7. 現地案内図

